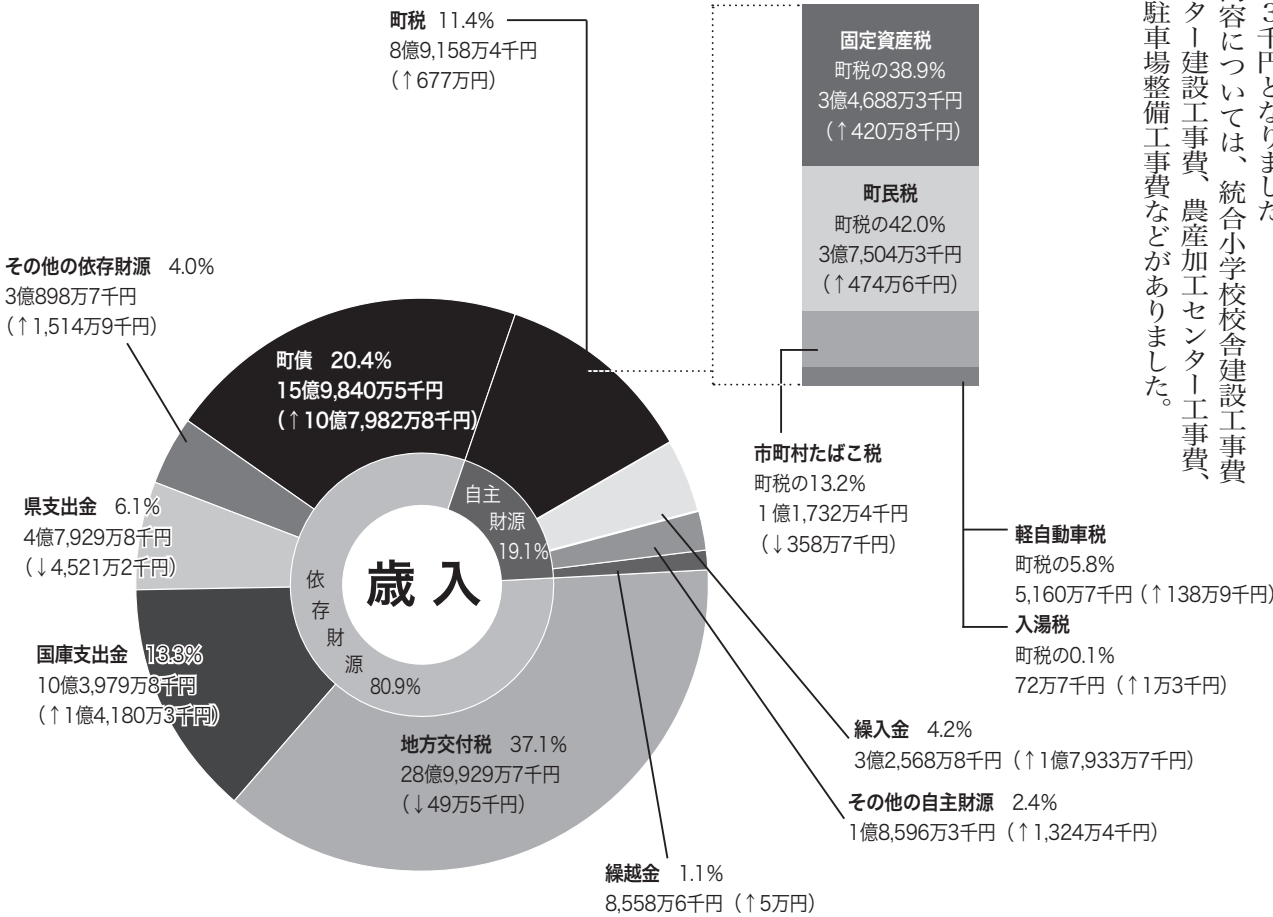




78億1,460万6千円
前年度 64億2,413万2千円

昨年度の歳入は、前年度と比較して13億904万7千円（21・6％）増の78億1460万6千円となり、歳出は、前年度と比較して13億1659万7千円（21・2％）増の75億3514万3千円となりました。

歳出の主な内容については、統合小学校校舎建設工事費や学校給食センター建設工事費、農産加工センター工事費、富士見湖パーク駐車場整備工事費などがありました。



※カッコ内は対前年度の増減額。
『↑』は増、『↓』は減を表わしています。

☆歳入の用語解説

自主財源	町が自主的に収入し得る財源
依存財源	国、県から定められた額を交付されたり、割り当てられたりする収入
町税	町民の皆さまから町に直接納めていただく税金
繰入金	基金などからの繰り入れ
繰越金	前の会計年度から次の会計年度へ持ち越したお金
町債	事業を行うために町が計画的に借入るお金
地方交付税	国から町に交付されるお金。国税のうち、所得税や法人税、たばこ税、酒税、消費税が町の財政力に応じて交付
国庫支出金	国庫負担金や国庫補助金など、特定の目的の事業の財源となる国からの補助金など

町民1人当たり換算した一般会計の歳入・歳出

※平成31年3月31日現在の町の人口（12,870人）で計算

歳出 【目的別】	総務費	民生費	教育費
	45,246円	153,590円	173,520円
	農林水産業費	消防費	土木費
歳出 【性質別】	45,445円	27,069円	40,581円
	衛生費	公債費	その他
	41,682円	40,530円	17,817円
歳入	補助費等	扶助費	公債費
	99,965円	91,680円	40,530円
	普通建設事業費	物件費	人件費
歳入	167,364円	52,836円	65,998円
	繰出金	維持補修費	その他
	50,897円	11,195円	5,016円
歳入	町税	歳出合計	
	69,276円	585,481円	

平成30年度決算【特別会計】

上段：30年度決算額
下段：対前年度増減

国民健康保険特別会計

歳入	歳出	差引残額
18億9,571万4千円	17億189万1千円	1億9,382万3千円
↓4億5,286万2千円	↓4億8,575万6千円	↑3,289万4千円

学校給食特別会計

歳入	歳出	差引残額
5,528万1千円	5,532万9千円	△4万8千円（※）
↓265万8千円	↓8万2千円	↑8万2千円

※歳入が歳出に不足する額4万8千円は、翌年度の歳入繰上充用金で補てんした。

第1財産区特別会計

歳入	歳出	差引残額
575万8千円	132万9千円	442万9千円
↓19万円	↑22万円	↓41万円

第2財産区特別会計

歳入	歳出	差引残額
562万1千円	85万円	477万1千円
↓9千円	↓6万5千円	↑5万6千円

介護保険特別会計

歳入	歳出	差引残額
17億8,786万2千円	17億1,595万6千円	7,190万6千円
↓3,124万4千円	↓4,324万4千円	↑1,200万円

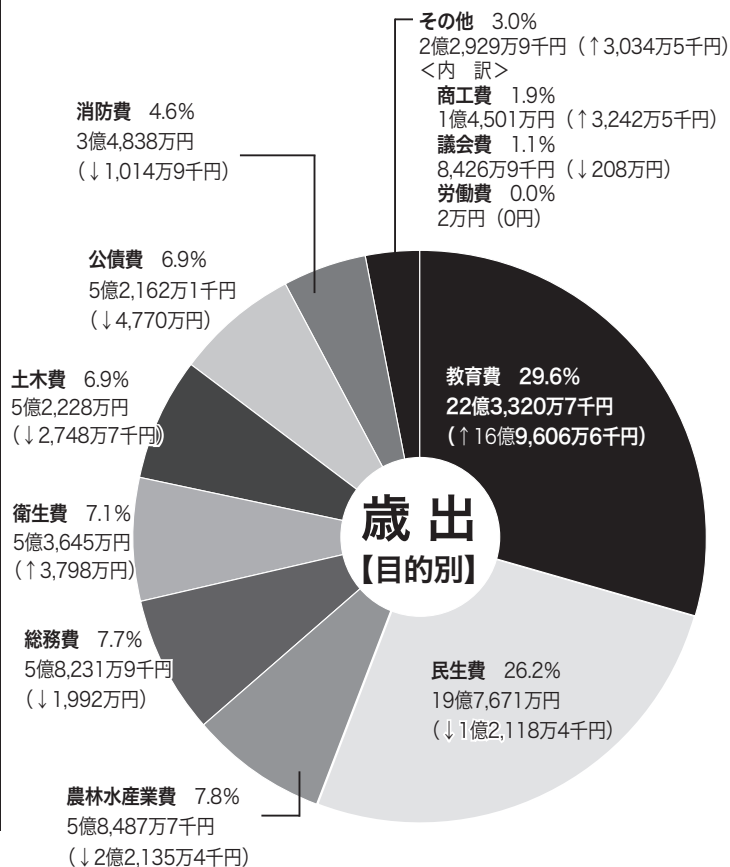
後期高齢者医療特別会計

歳入	歳出	差引残額
1億3,015万7千円	1億2,930万4千円	85万3千円
↓70万5千円	↑4万円	↓74万5千円

歳出

75億3,514万3千円

前年度 62億1,854万6千円



☆歳出の用語解説

【目的別】

総務費	選挙や戸籍、徴税、町の庁舎管理、職員の給与などの経費
民生費	高齢者や障害者、児童などの福祉に関する経費
教育費	小中学校の管理、社会教育、生涯学習・体育の振興、文化財保護などの経費
農林水産業費	農林水産業の振興、農業用道路や水路の整備、農村環境整備などの経費
消防費	五所川原地区消防事務組合の負担金や消防団員の報酬、消防機器の管理などの経費
土木費	町道や河川の整備、町営住宅の管理、除排雪等の経費
衛生費	各種検診や予防接種、ごみ処理、つがる西北五広域連合出資金などの経費
公債費	町の借金である町債を返済するための経費

【性質別】

人件費	職員（特別職および一般職）の給与、地方公務員共済組合負担金などの経費
扶助費	事情により生活や就労、就学が困難な人々を支援するための経費
普通建設事業費	道路や橋、学校、公共施設などの建設に要する投資的な経費
物件費	賃金や旅費、需用費、委託料など、消費的性質の経費
補助費等	産業や文化の発展のため、また公益上必要と認められた場合に支出される補助金など
繰出金	一般会計と特別会計、もしくは特別会計相互間で繰り出される支出

